

令和6年度 JRローカル線 維持・利用促進協議会 次第

日時：令和6年7月19日（金）15：00～16：30

場所：兵庫県2号館5階庁議室

1. 開 会

2. 議 題

（1）広域的な取組 . . . 資料1

（2）各ワーキングチームの報告 . . . 資料2

（3）意見交換

3. 閉 会

【参考資料】

- | | |
|--------------------------|-------|
| ・各ワーキングチームの取組一覧 | 参考資料1 |
| ・JRローカル線 維持・利用促進協議会 設置要綱 | 参考資料2 |

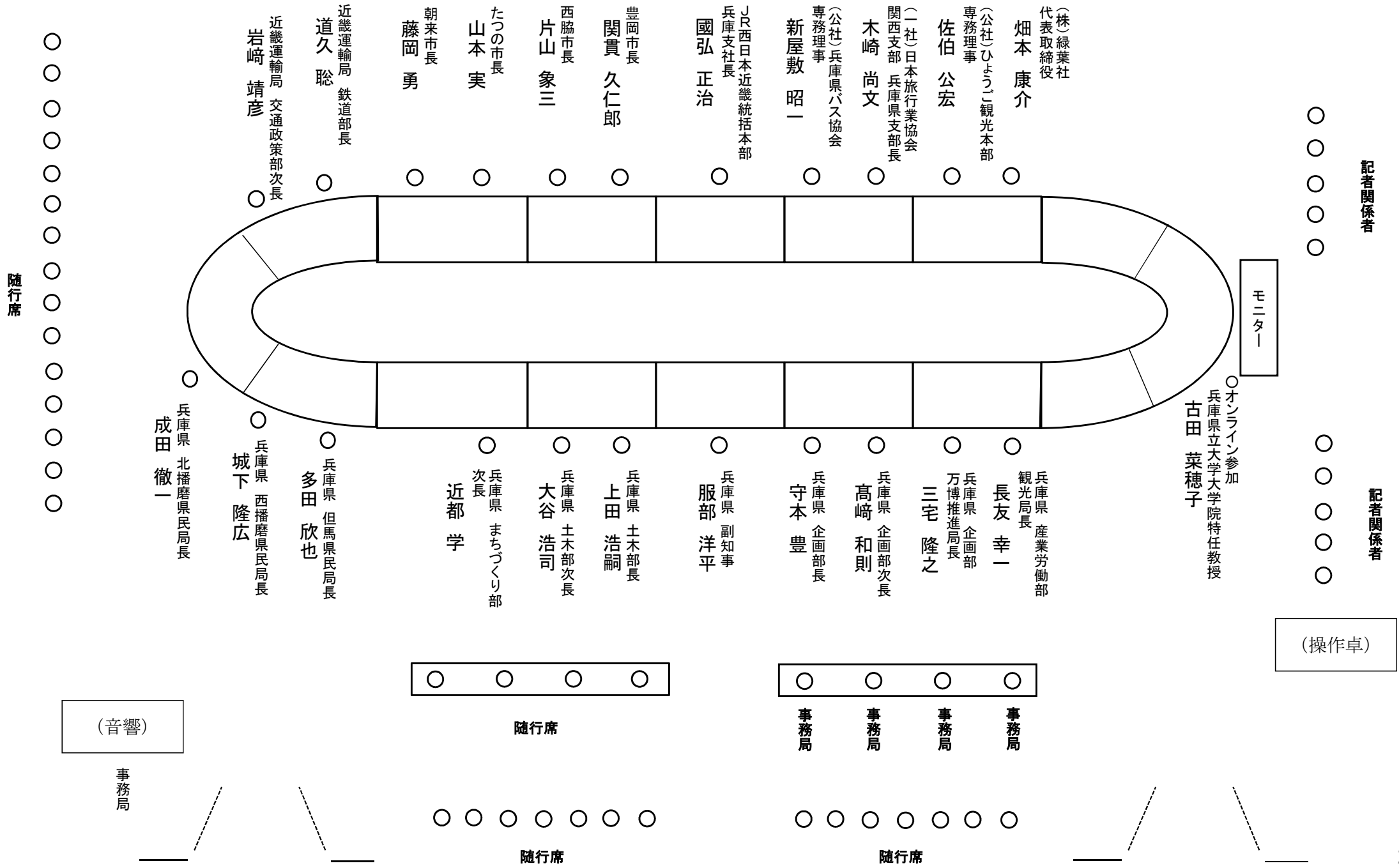
令和6年度 JRローカル線 維持・利用促進協議会 出席者

区分		氏名	所属・役職	備考
WT代表 (沿線市町)		関貫 久仁郎	豊岡市長 (山陰線WT代表)	
		片山 象三	西脇市長 (加古川線WT代表)	
		山本 実	たつの市長 (姫新線WT代表)	
		藤岡 勇	朝来市長 (播但線WT代表)	
JR西日本		國弘 正治	近畿統括本部兵庫支社長	
交通事業者		長尾 真	(公社)兵庫県バス協会会長	※代理出席 専務理事 新屋敷 昭一
観光事業者		木崎 尚文	(一社)日本旅行業協会関西支部 兵庫県支部長	
有識者	交通	谷本 圭志	鳥取大学教授	欠席
	まちづくり	畑本 康介	(株)緑葉社代表取締役	
	観光	古田 菜穂子	兵庫県立大学大学院特任教授	オンライン参加
ひょうご観光本部		佐伯 公宏	専務理事	
兵庫県		服部 洋平	副知事	
		守本 豊	企画部長	
		上田 浩嗣	土木部長	
		高崎 和則	企画部次長	
		大谷 浩司	土木部次長	
		三宅 隆之	企画部万博推進局長	
		長友 幸一	産業労働部観光局長	
		近都 学	まちづくり部次長	

(オブザーバー)

近畿運輸局	北川 健司	交通政策部長	※代理出席 交通政策部次長 岩崎 靖彦
	道久 聡	鉄道部長	
WT事務局	多田 欣也	但馬県民局長 (山陰線・播但線WT)	
	成田 徹一	北播磨県民局長 (加古川線WT)	
	城下 隆広	西播磨県民局長 (姫新線WT)	

配席図



広域的な取組（令和 5 年度の実績）

- 兵庫DCの開催にあわせ、**兵庫・岡山・鳥取3県合同で、沿線地域の魅力を発信する広域デジタルスタンプラリー**を実施するほか、その参加案内を兼ねて都市部で**街頭啓発を実施するなど、ローカル線利用促進の各種PR**を実施

デジタルスタンプラリーin兵庫・岡山・鳥取

- 実施期間：8月1日(火)～9月11日(月) (約6週間) ※**JRアプリ「WESTER」**を利用
- 実施主体：JRローカル線でつながる3県(兵庫県、岡山県、鳥取県)
- 実施内容：5路線(山陰線、播但線、姫新線、加古川線、因美線)を対象
現地を巡りスマホのGPS機能で「駅+観光地」をセットでスタンプ取得
- 実施結果：延べ訪問2,709回(獲得スタンプ数)、実人数610名 [うち**全5路線制覇：131名**]
- その他啓発：**ラジオ番組内**や(株)日本旅行の各店舗等でもJRローカル線の利用促進PR



都市部での利用促進の街頭啓発

- 時期・場所：8月7日(月) **JR三ノ宮駅中央改札前スペース**
- 出席者：知事、県議長、西脇市長(加古川線)、たつの市長(姫新線)、JR西日本兵庫支社長
- 実施内容：デジタルスタンプラリーの参加案内を兼ねて**PR用の団扇(約3,000枚)を配布**しローカル線の利用促進を啓発



協力高校：豊岡総合高校 美術部（山陰線）、西脇高校 写真部（加古川線）
 龍野北高校 総合デザイン科（姫新線）、和田山高校 美術部（播但線）

実施内容：マイレール意識醸成のため沿線高校生が作成するポスターを駅や沿線周辺の公民館、教育・文化施設、各沿線で実施される利用促進イベント等で掲出予定

山陰本線



加古川線



姫新線



播但線



- 兵庫県下で「食」「体験」をテーマに実施した多彩な取組を、引き続きJR西日本と連携実施。
- 大阪・関西万博及びひょうごフィールドパビリオンへと引継ぎ、更なる兵庫県の観光の発展と成長に繋げる。

内容

目的：「テロワール旅」を核とした『Hyogoブランド』の確立

県内各地の地域資源の掘り起こし・磨き上げ

期間：7月1日(土)～9月30日(土)

テーマ：兵庫テロワール旅 ―私の感動、その先へ。―

主な取組

兵庫DC：主なキャンペーン事業

【コンテンツ】「たけのジオカヌー」や「北播磨ものづくりツアー」など**合計66件 コンテンツ造成**

【近畿圏内初】「(ICOCAでGO)神戸・姫路デジタルパス」を「tabiwa by WESTER」で発売

【企業コラボ】兵庫の鉄道連携企画「車両所公開ツアー」等

【観光列車】「WEST EXPRESS 銀河」など、兵庫県の魅力満載の観光列車を運行

【食°体験】兵庫DC特製テロワール弁当、JR西日本ホテルズ兵庫グルメフェア等

主な成果

- 兵庫県内宿泊者数：7-9月の延べ宿泊者数 4,032千人泊 **プレDC(2022年) 同期比119%**
2019年 同期比102%
- 主要施設の入込実績：県内主要施設66 施設の入込実績 **プレDC(2022年) 同期比110%**
- 神戸・姫路デジタルパス：**3,566名利用** ○ひょうご乗り放題パス：**2,418名利用**



◀兵庫DCガイドブック



▲湯村温泉 足湯



▲「tamaki niime」shop&lab



▲播但線サイクルトレイン

広域的な取組（令和6年度の取組）

- 昨年の兵庫デスティネーションキャンペーンで得られた兵庫への観光の気運をさらに高めるため、JR西日本と連携した兵庫デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーンを実施。

内 容

目 的：2025年大阪・関西万博を見据えた**本県への観光誘客および県内周遊・滞在**を促進
フィールドパビリオンなど魅力ある着地型コンテンツの発信

期 間：7月1日(月)～9月30日(月)

テーマ：未来へつなぐ 兵庫・夏の体験 ～ 兵庫テロワール旅 ～

1 魅力的な着地型コンテンツの発信・販売

フィールドパビリオンなどを観光スポット・モデルコース等として造成した着地型コンテンツを観光型MaaSで発信、JR西日本と連携して販売

【主なコンテンツ】

- ・ tamaki niimeオリジナルショールづくり（特別ランチ付き）
- ・ ソラフネ1000万ドルの夜景鑑賞とスカイグリルブッフェ
- ・ 姫路城特別公開（搦手(からめて)：通常非公開)
- ・ 観光列車「うみやまむすび」の運行 など



tamaki niime
ショールづくり



ソラフネ
1000万ドル夜景



世界遺産・国宝
姫路城特別公開



観光列車
うみやまむすび

2 県内外からの誘客を促すプロモーション

○ 城崎温泉駅でのオープニングセレモニー

- ・ 開催日 7月6日(土)
- ・ 開催場所 JR城崎温泉駅
- ・ 対象列車 こうのとり5号
- ・ 内 容 ①到着セレモニー
②駅前での地元団体によるおもてなしイベント



○ WEST EXPRESS 銀河 イベント

- ・ 開催日 8月17日(土)
- ・ 開催場所 JR神戸駅
- ・ 対象列車 WEST EXPRESS 銀河



※運行ではなく駅に停車し、内部を一般開放

その他、昨年度実施した兵庫デスティネーションキャンペーン企画の中で、ご好評をいただいた企画に新たな魅力を加え、兵庫ならではの特別企画を準備して全国から皆様をお出迎えます。

➤ 2025年大阪・関西万博に合わせて、**地域のSDGsを体現する活動の現場**そのもの(フィールド)をパビリオンに見立て、地域の人々が主体となって発信することで、**国内外の多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」**を展開

認定数

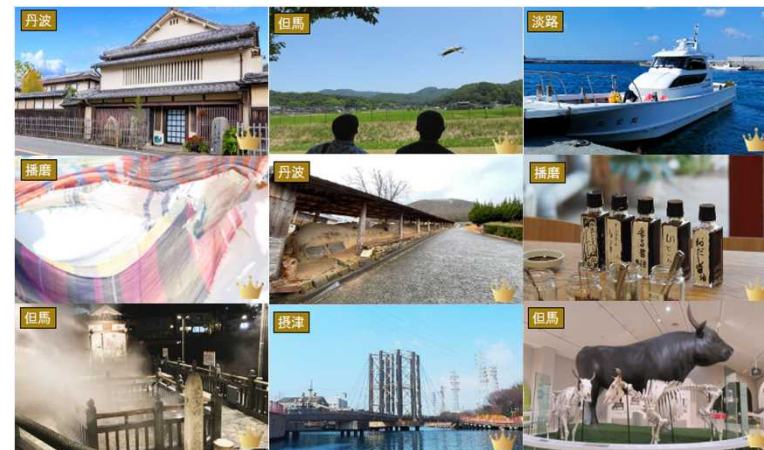
認定プログラム数：**230**件

(うちプレミア・プログラム※：9件)

※認定プログラムのうち、特に地域の核となる取組



ひょうご
フィールドパビリオン



➤ 万博に向けて、**磨き上げ、プロモーションを充実するほか、二次交通の充実**に向けた検討を実施

プログラムの磨き上げ

- 実施主体(プログラム提供者)に対して、**インバウンド対応、受入体制整備、情報発信等に関する研修**等を実施
- 実地研修を実施し、隣接するプログラムや関連するプログラムの**ネットワーク化を促進**
例) 新温泉町役場：町内のプログラム提供者を集めた連携会議を開催し、インフルエンサーが集中発信

[参考：R5年度の研修実績]

第1弾 キックオフ研修会

- テーマ：目標設定や課題認識
神戸、姫路、豊岡で実施

第2弾 座学研修

- テーマ：インバウンド対応、おもてなし
神戸、姫路、豊岡で実施

第3弾 座学研修

- テーマ：プログラム・受入体制・情報発信
神戸、姫路、豊岡で実施

第4弾 実地研修

- テーマ：現地の磨き上げ、プレーヤー同士の連携
全7コース、13プログラム実施

プロモーションの充実

- ホームページや展示等において、FPや既存の地域資源を活かした**交通手段も含めたモデルコースを策定・提示**
- モニターツアーやファムトリップ等で、各FPを繋ぐコースを廻り、SNSやメディア等で発信

交通アクセスの充実

- 万博会場や県内各地にあるFP等への**交通アクセス充実に向けた検討を実施**

[構成員] 大学教授、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、レンタカー事業者、空港事業者 等

令和 5 年度の主な取組結果等

山陰線WT

1 JR山陰本線（城崎温泉駅～竹野駅間）利用促進策創出ワークショップ

まちづくりと
一体となった魅力創出

事業内容 JRローカル線維持・利用促進検討協議会で取りまとめた利用促進策の方向性を踏まえ、地域特性やニーズをさらに深掘りし、**実効性のある持続可能な利用促進策を地域と協働して検討・実行することを目的としたワークショップを開催**。実現可能となった施策から適宜実施した。

実施時期 5月～10月

実施主体 豊岡市（R5予算額：5,500千円）

実施結果 第1回 5月13日 参加者32名 第2回 6月17日 参加者29名 第3回 7月8日 参加者26名
第4回 9月9日 参加者22名 第5回 10月21日 参加者20名

○参加者を6グループに分け、グループごとに利用促進策を検討

- グループ1 春夏秋冬3番線活用計画
- グループ2 閉じ込める“絵にもかけない美しさ”浦島太郎になろう！！
- グループ3 小中学校乗車体験
- グループ4 豊岡市民はJRに乗って城崎温泉へ行こう！
- グループ5 竹野海岸イベント企画
- グループ6 竹野駅で何かずっとやってる！？

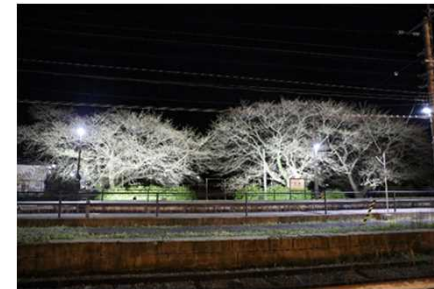


【竹野駅前広場ライトアップ】

【反響・今後の課題】

WSで出された利用促進策の実施

- ・12月21日～1月31日 竹野駅前広場ライトアップ
- ・1月20日 イルミネーションライトアップイベント開催 約100名来場
- ・3月31日 竹野駅利用促進イベント「一夜限りの桜のライトアップイベント」開催 約500名来場
- ・小中学校乗車体験については、令和6年度「トライやる・ウィーク」との連携を実施
- ・その他の利用促進策についても、関係各所と調整



【一夜限りの桜のライトアップイベント】

2 JR山陰本線(城崎温泉駅～竹野駅間)利用促進策創出「乗って守ろう! 竹野駅ペイ」

日常利用の促進

事業内容 JR山陰本線利用促進策創出ワークショップの先行事業として、JR竹野駅の売上増加と地域振興を目的に、竹野駅での切符購入者に購入金額に応じ**竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)**を配布

実施時期 8月1日～2月29日

実施主体 竹野地域公共交通利用促進委員会、豊岡市 (R5予算額: 5,500千円)

実施結果

- 【配布実績】 8月1日からクーポン券の配布開始 (1万枚)
10月7日に配布予定枚数に到達
10月18日から第2弾としてクーポン券の配布開始 (1万枚)
12月下旬 **20,000枚**配布完了

【換金実績】 **1,880,200円** 換金率: **約94%** 利用可能店舗数: **30店舗**

【反響・今後の課題】

・竹野駅での乗車券類等販売実績

R5年度/R4年度比較 8月**142.0%** 9月**128.3%** 10月**149.0%** 11月**151.7%** 12月**136.6%** 1月**124.9%** 2月**84.7%**

R5年度/R元年度比較 8月**98.5%** 9月**71.5%** 10月**149.7%** 11月**111.5%** 12月**133.7%** 1月**72.1%** 2月**82.6%**

・クーポン券の配布開始から**約2か月**で**当初予定していた配布枚数に到達**。

想定を上回る売れ行きで、急遽第2弾として追加配布を実施。竹野駅での乗車券類等販売実績もコロナ前の約93%まで回復した。

・R6年度中の実施を目標に、山陰本線沿線の**香美町並びに新温泉町と連携し、お互いの地域で特典が受けられる施策**としての実施を協議中



3 持続可能な公共交通体系の構築

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

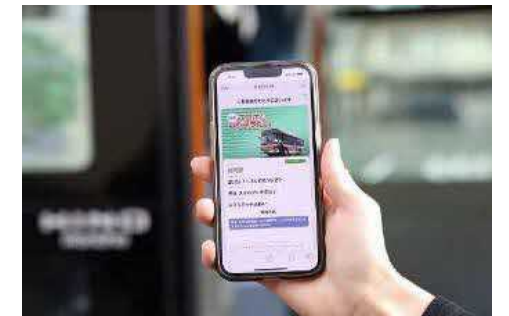
事業内容 スマートフォン1つでスムーズな路線バスの乗降車が可能になるサービスの実証実験を実施。キャッシュレス化により路線バスの利用実態を可視化することで現状把握と課題整理を行い、効率性と利便性のバランスに配慮したバス路線の再編・再構築に向けた知見を獲得するとともに、**キャッシュレス環境の実装に向けた課題を抽出**。
実証実験から得られた結果は、設立を目指す交通連合におけるバスと鉄道の相互連携施策や但馬地域全体の交通施策に活用

実施時期 11月15日～2月14日

- 対象区間**
- (1) 距離別及び定額運賃精算
 - ア 市街地循環バス「コバス」
 - イ 豊岡出石線、奥藤線
 - ウ 玄武洞公園直通バス「ちょい観光バス」
 - (2) 通勤・通学定期
 - ア 豊岡出石線、奥藤線
 - (3) 企画切符
 - ア 往復バス乗車券付 出石食べ歩きデジタルクーポン

実施主体 全但バス(株)、(一社)豊岡観光イノベーション、KDDI(株)、豊岡市 (R5予算：3,442千円)

- 実施結果**
- (1) 距離別及び定額運賃精算実績
 - 登録者総数：**97名** 利用人数：**39名** 総利用回数：**121回** 利用総額：**37,520円**
 - (2) 通勤・通学定期
 - 購入者数：**96名** 利用人数：**68名**
 - (3) 「出石食べ歩き」往復デジタル乗車券
 - 購入者数：8名 販売枚数：10枚



【反響・今後の課題】

- ・キャッシュレス化により「現金を用意する必要がなく、便利である」や「運賃表や小銭があるかを気にしなくて良い」など肯定的な意見がある一方「反応速度が遅い」や「反応しない、うまく読み込めない」など、システムの改善が望まれる意見もあった。
- ・キャッシュレス化への期待は高く、日常利用を基本とした実用性、汎用性のあるシステムの導入を目指す。

4 定額観光タクシーを活用した公共交通利用促進事業

観光需要の増加

事業内容 兵庫DCに合わせ、養父市への来訪者に対し、**市内公共交通への利用助成（定額観光タクシー）と市内映画ロケ地にて提供されたロケ弁をイメージしたロケ弁当提供**により、鉄道およびJR八鹿駅からの2次交通利用を促進

実施時期 8月1日～11月30日

実施主体 養父市（R5予算：約2,500千円）

実施結果 定額観光タクシー 延べ利用人数：**68名**

【反響・今後の課題】

兵庫DCに合わせた本キャンペーンの実施により初めて鉄道で養父市を訪れたという利用者の声が多く確認できる等、鉄道の利用促進に一定の効果があった。これをきっかけに観光協会、交通事業者と更なる連携を図り鉄道利用促進を行う。



【時間制定額観光タクシー養父市観光協会HP】

5 養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム事業

日常利用の促進

事業内容 養父市関宮地域では、路線バス、コミュニティバス、自家用有償運送事業（やぶくる）、タクシーが運行しているが、必ずしも地域ニーズに応える交通体系にはなっていない。**将来にわたり持続可能な公共交通を地域住民の乗車体験を通じて検討するため、デマンド交通実証実験を実施**（国土交通省「地域交通共創モデル実証プロジェクト」を活用）

実施時期 10月28日～11月10日

実施主体 養父市、NPO法人但馬を結んで育つ会、全但バス株式会社、NPO法人養父市マイカー運送ネットワーク、社会福祉法人養父市社会福祉協議会、一般財団法人日本自動車研究所、セイノーホールディングス株式会社

実施結果 デマンド車両 延べ利用人数：**259名**（対象エリア人口の約1割）

【反響・今後の課題】

将来の公共交通のあり方を地域住民に自分事として考えてもらう機会になった。

今後は、乗車体験を通じた地域住民の意見等を踏まえ、デマンド交通の実装に向けて取り組む。

6 鉄道利用促進助成事業

日常利用の促進

事業内容 香美町在住者を対象に町内5つの駅（佐津、柴山、香住、鎧、餘部）を発着として2名以上で往復する場合の**利用料金（運賃及び特急料金）の半額を助成** ※JR営業距離に応じた助成上限額あり

実施時期 令和5年度

実施主体 香美町（R5予算：約2,000千円）

実施結果 申請件数：**177件**、延べ利用人数：**435名**

【反響・今後の課題】

- ・普段は車で移動していたが助成があるのでJRを利用したという声があった。
- ・高校生の受験や就職活動にも利用してもらおうと但馬地域内の高校などに周知チラシを送ったが、予想以上に反響が少なかった。



7 鉄道往復利用支援事業

日常利用の促進

事業内容 町民が浜坂駅を発着駅として豊岡（城崎温泉）駅又は鳥取駅を往復利用する場合に、**片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布**

実施時期 7月～9月までのうち4日間

実施主体 新温泉町（R5予算：253千円）

実施結果 延べ利用人数：**133名**

【反響・今後の課題】

- ・鉄道の継続利用に繋がる仕組みづくりを検討する必要がある。



【事業実施時の様子】



【鉄道ノベルティ】



【広報用チラシ】

8 持続可能な公共交通体系の構築（県民局等）

観光需要の増加

日常利用の促進

事業内容 交通連合の設立を見据えた準備会の発足

実施時期 令和5年度

実施主体 但馬県民局、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、交通事業者（JR西日本、全但バス）

【今後の取組】

令和5年度は準備会発足に向けた「交通連合設立に向けた担当者会議」を2回実施（担当者会議を「但馬地域交通連合設立準備会」に改称）。①料金のバリア解消（運賃の一元化・低廉化）②時間のバリア解消（相互に連携した路線・ダイヤの構築）③施設のバリア解消（鉄道とバスのダイヤ相互表示、駅舎有効活用等）を目標とし、必要に応じて有識者を招いて協議を進めた。今後は、県民局が事務局として、課題解決に向けた関係機関との調整や交通連合の構成員や実施業務等の原案作成等を実施。

令和6年度の主な取組

山陰線WT

1 「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施 [継]

日常利用の促進

【概要】

事業内容 令和5年度実施した「JR山陰本線利用促進策ワークショップ」からの創出策として、今年度も継続実施。JR竹野駅の売上増加と地域振興を目的に、竹野駅で切符を購入された方に、購入金額に応じ**竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券（100円/1枚）**を配布する。

特徴 昨年度のクーポン券の換金率約94% 投資が地元商店等に還流される良い施策と判断し、令和6年度も継続して実施

実施主体 竹野地域公共交通利用促進委員会（R6予算：3,954千円）

実施期間 令和6年4月～令和7年2月末日

【取組状況・今後のスケジュール】

令和6年5月末実績 クーポン券発券枚数 8,480枚 換金率24.5%



2 トライやる・ウィーク交通費支援 [新]

日常利用の促進

【概要】

事業内容 令和5年度実施した「JR山陰本線利用促進策ワークショップ」からの創出策を実施。小中学生が公共交通に乗る「きっかけ」づくりや「地域の公共交通に対する問題意識の喚起」を目的に、市内の中学2年生が実施する**トライやる・ウィーク**において、**体験活動先の事業所へ移動する際に公共交通を利用**してもらい、利用した**公共交通の費用支援**を実施

特徴 交通事業者と連携し、特別乗車証等を生徒に配布

実施主体 豊岡市（R6予算：436千円）

実施期間 令和6年5月～

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・延べ93名の生徒が利用（**JR24名、路線バス61名、市営バス8名**）
- ・豊岡南中学校の生徒（14名）がJRを利用し、竹野地域の事業所を訪問するのは初めての取り組み。



【広報とよおか7月号 表紙】

3 自動運転バス実証事業【新】

日常利用の促進

事業内容 養父市においても、「ドライバー不足の解消」、「高齢者の移動手段の確保」など持続可能な公共交通体系の構築が大きな課題であり、買物や通院といった日常生活において欠かせない移動手段を確保することが重要となっており、その対応策の1つとして**自動運転バスの実証実験を実施**。JR八鹿駅を出発点とするルートを計画しており、**2次交通の利用促進を図る**。

実施期間 11月～2月（最大4か月間を想定）

実施体制 養父市、BOLDLY（株）、全但バス（株）

【取組状況・今後のスケジュール】

令和6年6月6日 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）採択



出展：BOLDLY（株）

4 やぶくる運行エリア拡大【新】

日常利用の促進

事業内容 平成30年5月から大屋、関宮地域において運行してきた自家用有償観光旅客等運送事業（通称「やぶくる」）について、4月1日より、**利用者から特に要望が多かったJR八鹿駅などの6施設を対象**とした大屋、関宮地域とのスポット運行を開始。JR八鹿駅からの2次交通の利用促進を図る。

実施時期 10月～11月（40日間を想定）

実施主体 NPO法人養父市マイカー運送ネットワーク

【取組状況・今後のスケジュール】

令和6年4月1日 JR八鹿駅などの6施設を対象とした大屋、関宮地域とのスポット運行を開始



5 鉄道利用促進助成事業【継】

日常利用の促進

【概要】

事業内容 香美町在住者を対象に町内5つの駅（佐津、柴山、香住、鎧、餘部）を発着として**2名以上で往復**する場合の**利用料金**（運賃及び特急料金など）の**半額を助成**する。
※JR営業距離に応じた助成上限あり

実施主体 香美町（R6予算：約2,000千円）

実施期間 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

6月20日時点 45件（延べ人数）102名が利用
夏休みまでに受験や就職活動にも使えるとの案内を各高校へ行う予定



6 鉄道往復利用支援事業【継】

日常利用の促進

【概要】

事業内容 町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡（城崎温泉）駅又は鳥取駅を往復利用する場合に、**片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布**。

特徴 JR山陰線の鉄道運行の持続的な確保と利便性の向上を図るため、町民の鉄道利用増加、路線維持に対する意識高揚を目的とする。

実施主体 新温泉町（R6予算：130千円）

実施期間 7月27日、8月3日、8月18日、9月23日（予定）

【取組状況・今後のスケジュール】

今年度の実施については、7月～9月頃に4回実施予定
令和5年度実績 期間：計4日間 延べ利用人数：33名

【昨年度事業実施の様子】



【鉄道ノベルティ】



7 特急はまかぜ「ちょい乗り」事業 [新]

日常利用の促進

【概要】

事業内容 10人以内（1人でも可）の町民の方が、**浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜを利用**する場合に**片道分の特急券を配布**する。

特徴 乗車券料金のみで特急はまかぜに乗車できる

実施主体 新温泉町（R6予算：129千円）

実施期間 7月27日、8月3日、8月18日、9月23日（予定）

【取組状況・今後のスケジュール】

町広報、ホームページに掲載、ポスターやチラシを利用し、利用周知を図る。



8 鉄道往復団体利用支援事業 [新]

日常利用の促進

【概要】

事業内容 10人以上20人以内で町民の方のみの団体が、浜坂駅を発着駅として豊岡（城崎温泉）駅または鳥取駅までの間を**鉄道で往復利用**した場合に**片道分の乗車券を配布**する。

特徴 団体でのレクリエーション等に利用できる。

実施主体 新温泉町（R6予算：130千円）

実施期間 8月1日～31日のうち利用希望日

【取組状況・今後のスケジュール】

町広報、ホームページに掲載、ポスターやチラシを利用し、利用周知を図る。



9 町民ふれあいの旅事業 [継]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を実施

特徴 町民の親睦と鉄道の利用促進を図る。

実施主体 マックトラベルサービス（共同企画：新温泉町）

（R6予算：430千円）

実施期間 6月14日～15日

【取組状況・今後のスケジュール】

行先：香川県琴平町等

参加者数：27名

【参加募集チラシ】



10 特急はまかぜ利用助成金交付事業 [継]

日常利用の促進

【概要】

事業内容 町民が特急はまかぜを利用した際の乗車券等の運賃を助成

特徴 特急はまかぜの利用促進を図る。

実施主体 新温泉町（R6予算：1,050千円）

実施期間 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

令和6年5月末時点 延べ利用人数：38名

【広報チラシ】



11 WESTERへの情報集約 [継]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 WESTER おでかけスポット・イベント情報の登録

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ 移動生活ナビアプリWESTERを活用した情報発信
 - ・ 継続的なWESTERのサービス拡充とご利用者の増加キャンペーン
- ※登録スポット数：山陰線沿線 34件



12 兵庫県但馬キャンペーン ひょうこと巡る 山陰線・播但線の旅 [継]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 「駅メモ！」シリーズとコラボしたデジタルスタンプラリー

特徴 対象駅（12駅）や観光施設（15箇所）にチェックインポイントを設定

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 令和6年2月23日～9月23日

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ オリジナルキャラクター「但馬ひょうこ」の登場（令和6年2月～）
- ・ ラッピング列車の運行（令和6年2月下旬～9月下旬頃）
- ・ 普通列車内でのポスター、城崎温泉駅でのオリジナル駅名標の設置（令和6年2月～）
- ・ 車内の中吊りや主な駅のデジタルサイネージを用いた広告（令和6年2月～）



【大阪駅デジタルサイネージ】

※月間チェックインユーザー数（令和6年4月）：浜坂駅810名、餘部駅711名、香住駅751名、竹野駅658名、城崎温泉駅683名、豊岡駅900名、江原駅833名、八鹿駅890名、和田山駅944名

13 兵庫DCアフターキャンペーン [新]

観光需要の増加

【概要】

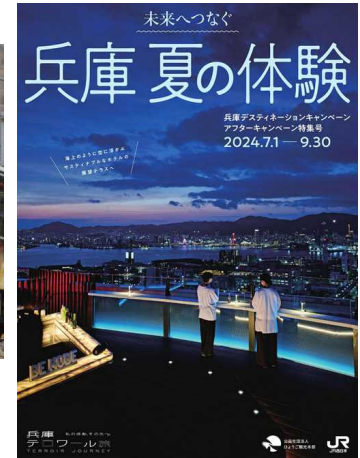
事業内容 JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン

実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体

実施期間 7月1日～9月30日

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・観光列車「うみやまむすび」の運行
(兵庫たじまの宝箱：6日間、演劇列車：5日間)
- ・ガイドブック、ポスターの配付、掲出
- ・(ICOCAでGO)ひょうご夏の体験デジタルパス(3日間用)の発売
- ・城崎温泉駅で兵庫DCアフターキャンペーンOPセレモニー(7月6日)
- ・夢但馬周遊バス「たじまわる」、夢たじま観光タクシーの運行



14 サイコロきっぷ [継]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 大阪駅からサイコロの出目で決まる着地※までの往復JR普通車指定席

(新幹線・特急列車)が利用できる商品

※城崎温泉駅、白浜駅、宮島口駅、博多駅

特徴 5,000円(月～木出発)または8,000円(金、土、日出発)で発売

実施主体 JR西日本

実施期間 5月24日～7月11日



15 持続可能な公共交通体系の構築【継】

観光需要の増加

日常利用の促進

事業内容 交通連合の設立を見据えた準備会の発足

実施時期 令和6年度

実施主体 但馬県民局、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、交通事業者（JR西日本、全但バス）

【今後の取組】

- ・ 県、市町が交通事業者とともに、交通連合設立準備会で継続的に取り組んでいる。
- ・ 来年度、交通の現状や課題を整理した上で、国内外の交通連合等の事例調査を踏まえ、但馬に適合した形で交通課題を解決できるような、交通事業者の連携強化方針や交通体系の構築を打ち出したいと考え、本年度は準備を進める。

令和 5 年度の主な取組結果等

加古川線WT

1 通学定期券購入補助事業

日常利用の促進

- 事業内容** 学生の通学定期券購入費用の一部補助
特徴 市内在住の学生で、西脇市～谷川駅間に係る通学定期券の額の2分の1を補助する。
実施主体 西脇市、丹波市（R5予算：計1,500千円）
実施期間 4月～
実施結果 利用者：43名

【反響・今後の課題】

- ・対象が西脇・丹波市民に限定されるため、西脇市駅以南の利用も含め、広域での利用促進に係る補助制度スキームの検討が必要である。
- ・R6年度も同制度を継続し、日常利用を推進する。



【通学風景「西脇市駅」】

2 J R加古川線に乗ろう！キャンペーン

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

- 事業内容** J R加古川線を利用した駅周辺地域でのイベント等キャンペーンの実施
特徴 電車利用後に地域の名所を巡るハイキングや、駅に隣接する交流拠点施設「あつまっ亭」での餅つき大会等イベントやレンタサイクル事業の実施等、一連の取組みを実施する。
実施主体 黒田庄まちづくり協議会、西脇市（R5予算：1,000千円）
実施期間 7月～11月
実施結果 ・7月10日からいぢい事業を開始（利用者：32名 うち鉄道利用者20名）
 ・ハイク等イベントを11月26日に開催（参加者：約350名）

【反響・今後の課題】

地域住民が主体となって行う事業であり、地域住民のマイレール意識等の盛り上がりがかギとなるため、より多くの住民を巻き込むための仕掛けが必要である。



【黒田庄駅のレンタサイクル】

3 加古川線フォトコンテスト～さあ、加古川線(加々)を愛そう～

日常利用の促進

観光需要の増加

事業内容
特徴

①鉄道写真家による**講演会の実施**及び②**フォトコンテストの開催等**
 ①**鉄道写真家による「鉄道写真の撮り方」をテーマにした講演会**を実施
 ②**JR加古川線フォトコンテスト**を実施し、**審査・表彰**を行うとともに、入賞作品等による**メディアを活用したPR**に取り組む。

実施主体 西脇市、丹波市 (R5予算：608千円)

実施結果 ①開催日：8月6日 (募集：100名 **参加者：213名**)
 ②募集期間：8月1日～12月28日 (**応募作品：112点**)



【フォトコンテスト作品より】

【反響・今後の課題】

- ・想定よりもかなり多くの方に参加いただいた。鉄道写真など、鉄道本来の利用目的以外でも鉄道の利用促進を図ることは可能であるため、有効な取組を検討実施する。

4 ARデジタルスタンプラリー

観光需要の増加

事業内容
特徴

ARを活用したデジタルスタンプラリーを実施
 鉄道を利用した周辺観光地等の周遊促進を図るため、**兵庫DC期間に合わせ、駅及び周辺観光施設等をスタンプスポット**として、沿線観光施設、JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道等の協力のもと実施し、**兵庫DCとの連携による相乗効果**を図る。

実施主体

(主催) 北播磨広域観光協議会
 (共催) JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会 (R5予算：3,200千円)

実施期間

8月～9月 **スタンプスポット** (駅・周辺観光施設等) 計15箇所

実施結果

駅・周辺観光施設等延訪問者数:2,399名(獲得スタンプ数) **実人数:667名**
 (西脇市ー谷川間スポット実績：日本へそ公園177名 ちーたんの館124名)



【反響・今後の課題】

- ・参加者からは、今回のスタンプラリーで久しぶりに駅に訪れたという声もあり、駅(鉄道)を再認識するきっかけとなった。
- ・鉄道車内にスポットを設置する等、鉄道を必ず利用して参加するしくみができれば、さらなる効果が期待できる。

5 わが町考え隊「heso city club プロジェクト」

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

事業内容 鉄道を中心とした地域おこしのための組織の創出
特徴 **地域住民、社会活動家等が中心**になり、西脇市～谷川駅間の
鉄道を中心とした地域活性化策を検討し、実施する組織を発足させる。

実施主体 社会活動家等、北播磨県民局（R5予算：300千円）
実施結果 西脇市在住の堀井氏(靴職人)を中心に、地域活性化策を展開

- ・ SNSによる情報発信（随時）
- ・ ワークショップ「マルトリエ」の実施(12月10日) 参加者：約100名

heso city club



【ワークショップ「マルトリエ」】

「マルトリエ」
参加者からの
メッセージ

・なくなってしまうと高校生の進路の幅を狭めてしまうので残していただきたい。
 ・一人一人地域で列車の存続について考えよう。 等

【反響・今後の課題】

地域住民等への活動の周知や連携の拡がり、JR加古川線への地元意識の高揚を図り、
 利用促進につなげられるよう継続した取組が必要である。

6 JR加古川線リレーマルシェ

日常利用の促進

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

事業内容 駅周辺でマルシェなどを開催

- ①西脇市区域内・・・（実施主体：地元まちづくり協議会、北播磨県民局）
- ②丹波市区域内・・・（実施主体：地元自治振興会、丹波県民局 等）

昨年度実施結果

- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------------------------|
| ①久下村夜市 | （ 8月22日開催 | 参加者約600名 | うち加古川線利用者 約 270名 ） |
| ②谷川夜市 | （12月22日開催 | 参加者約470名 | うち加古川線利用者 約 120名 ） |
| ③黒田庄マルシェ | （ 2月25日開催 | 参加者約1,200名 | うち加古川線利用者 約 240名 ） |



【「谷川夜市」で賑わう駅前広場】

【反響・今後の課題】

- ・ 鉄道利用を喚起し、多くの方に参加いただいた。特に黒田庄マルシェは雨天にもかかわらず、多数参加いただいた。
- ・ 継続開催に向けた仕組みづくり、参加者数の予測、会場環境整備、鉄道利用者の更なる増加が課題である。

7 通学自転車を乗せるサイクルトレイン実証実験

日常利用の促進

事業内容 鉄道の日常利用促進のため、**自転車をそのまま列車に乗せるサイクルトレインの実証実験**を行う。

特徴 **地元高校生を対象として、登下校の時間帯に実証実験**を行い、安全性の問題点等を検証する ※モニター：西脇高校生3名

実施主体 JR西日本、西脇市、兵庫県

実施結果 ・プレ実証実験：8月3日 ・実証実験：10月10日～13日、10月23日～27日

【反響・今後の課題】

- ・自転車の乗降や列車内での固定について問題なく実施できた。
- ・現車両では乗せられる自転車は3台程度であるが、安全性の問題や、運行に支障がないことから、引き続きサイクルトレインの実現に向け検討を進める。



【サイクルトレイン実証実験】

8 “さあ、加古川線(かこ)を愛そう”利用促進ウィーク

日常利用の促進

観光需要の増加

事業内容 西脇市と県立西脇高校生、県立繊維工業技術センターが共同製作した**播州織の中吊り広告を掲出して車内を装飾**し、また、啓発ポスター、チラシ等により、通学や通勤、出張等に**JR加古川線を利用するよう住民・企業等に呼びかける。**

実施主体 西脇市、北播磨県民局共催（協力：西脇高校、繊維工業技術支援C）（R5予算：450千円）

実施結果 播州織中吊り、チラシ、ポスター、HP、新聞広告等で呼びかけを実施（期間：10月5日～18日）
ウィーク中平日と通常平日との輸送密度の比較：1.17倍

・10月17日(火)輸送密度155名(ウィーク中平日) ・10月31日(火)輸送密度132名(通常平日)

【反響・今後の課題】

- ・播州織の中吊り広告は好評で、どうにか入手したいという問い合わせもあったため、掲出に続く次の一手（鉄道利用者へのハルティ配布等）も有効である。
- ・中吊り広告とそれをデザインした西脇高生が地元紙に掲載され、地域住民に現状や利用促進の取組を情報発信することができた。



【播州織中吊り広告】

9 利用実態調査、利用促進活動

日常利用の促進

事業内容 加古川線(西脇市-谷川間)の利用実態調査
特徴 乗車・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査と、特製クリアファイル、兵庫DCパンフレット、ノベルティを約400セット配布し、**鉄道利用促進の呼びかけ**を実施

実施主体 JR西日本

実施期間 乗り込み調査7月8日、9日、11日、13日

実施結果 アンケート獲得数：494、獲得率：74%

- ・平均乗車人数/日（平日384名、休日284名）
- ・最大乗車人数/1列車（平日25名、休日28名）

【反響・今後の課題】

今後は、鉄道を利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要である。



特製クリアファイル



配布物



【利用実態調査(促進活動)】

10 JR観光情報誌 西Naviへの掲載

観光需要の増加

事業内容 観光情報誌「西Navi」に地域の特産品紹介
特徴 観光情報誌「西Navi」表紙+紙面に**西脇市特産品（播州織、播州ラーメン、スイーツ等）の特集を掲載。**

実施主体 JR西日本

実施期間 7月25日～8月24日（8月号）

実施結果 **約40万部発行、JR西日本管内主要駅**に掲出

【反響・今後の課題】

- ・県内外のお客様へ地域の特産品をご紹介・宣伝することができた。
- ・紙面に掲載された店舗からは、「来店するお客様が増えた」とのコメントもあった。



【西Navi表紙】



11 加古川線利用促進リーフレットの作成

日常利用の促進

観光需要の増加

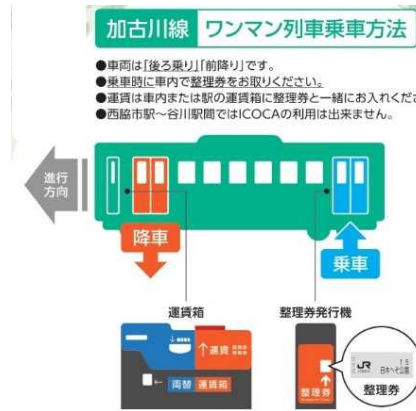
事業内容 加古川線(西脇市-谷川間)利用を呼びかけるリーフレットの作成
特徴 公共交通のメリット、加古川沿線のお役立ち情報、鉄道のご利用状況、ワンマン列車の乗車方法、WESTERアプリの便利機能などを掲載

実施主体 JR西日本 (協力: 兵庫県、西脇市、丹波市)

実施結果 8,000部、令和6年2月作成

【反響・今後の課題】

- ・ 駅頭での配架、沿線自治体施設への配架を実施
- ・ 引き続き駅等での配架やイベント等での配布を検討



12 西脇高校による加古川線NEW路線図作成

日常利用の促進

観光需要の増加

事業内容 JR西日本 明石電車区、加古川駅と西脇高校とが連携し、播州織、鮎、桃、いちじくなど各沿線地域の特産品等を路線図の中に取り込んだ、色鮮やかな加古川線のNEW路線図を作成。

実施主体 JR西日本、県立西脇高等学校

実施結果 1月27日 NEW路線図のお渡し会の開催

(西脇市駅にて感謝状の贈呈や、生徒による路線図の差し替え)



【反響・今後の課題】

従来の路線図に比べ、地域性に富んだ路線図を作成することができ、西脇高校生のマイレール意識を醸成したと考える。



令和6年度の主な取組

加古川線WT

1 加古川線全線開業100周年記念事業【新】

観光需要の増加

【概要】

事業内容 1924年（大正13年）12月27日に野村駅（現・西脇市駅）～谷川駅間が開業して100周年になることを記念し、記念セレモニーやトークショー、ラッピング列車の運行、記念グッズ作成 等を実施

- ① **記念セレモニー**（7月7日）
 - ・西脇市駅での出発式
 - ・俳優 六角精児さんのトークショー（オリナスにて）
- ② **車両ラッピング**（7月7日～令和6年2月末頃）
- ③ **LINEスタンプラリー**（10～12月頃を予定）
- ④ **記念ノベルティと記念グッズ作成**

＜キャッチフレーズ＞

「ありがとう＆おめでとう加古川線全線開業100周年」



ロゴマーク



【記念セレモニー】

- 実施主体**
- ・西脇市、丹波市（①～③）
（R6予算：6,600千円）
 - ・JR西日本（④）



ラッピング列車（イメージ）

【取組状況・今後のスケジュール】

7月7日に記念セレモニー、トークショー実施済



2 加古川線利用促進ウィーク [継]

日常利用の促進

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 地域の必要な鉄路として今後の未来につなげていくため、通学、通勤時等の鉄道利用を推進する。

- ① **播州織中吊広告の車内掲示**・ポスター等による鉄道利用の呼びかけ R5利用促進ポスター
- ② **地元高校生等による文化祭**(物販、ワークショップ、発表会) 等イベントの開催

実施主体

- ① 西脇市、北播磨県民局
- ② 関係機関 による実行委員会を検討中 (R6予算額: 1,750千円)

【取組状況・今後のスケジュール】

秋頃 (調整中)



【文化祭(イメージ)】



3 加古川線利用助成事業 [新]

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容

- ① **社会学習利用助成**・・・学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃を助成
- ② **団体利用者助成**・・・団体利用する場合の運賃を助成

実施主体 西脇市、丹波市 (R6予算額: ①550千円、②800千円)

実施期間 4月～

【取組状況・今後のスケジュール】

4月から実施中 (黒田庄中〔130名〕西脇小〔66名〕ほか)



【黒田庄中の全校生徒による遠足利用】

4 JR加古川線リレーマルシェ【継】

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 駅周辺でマルシェなどを開催 (R6予算額：2,579千円)

実施主体 地元自治会、県民局等



【久下村夜市】

< 昨年度実施結果 >

- ①久下村夜市 (8月22日開催 参加者 約600名 うち加古川線利用者 約 270名)
- ②谷川夜市 (12月22日開催 参加者 約470名 うち加古川線利用者 約 120名)
- ③黒田庄マルシェ (2月25日開催 参加者 約1,200名 うち加古川線利用者 約 240名)

【取組状況・今後のスケジュール】

久下村夜市は8月22日の開催予定 その他は関係機関等と調整中



【黒田庄マルシェ】

5 通学定期券購入補助【継】と通学定期券購入者自転車貸出事業【新】

日常利用の促進

【概要】

事業内容

- ①**定期券購入補助** (実施主体：西脇市、丹波市 R6予算額：1,582千円)
通学定期券を購入する学生に対し購入費の一部を助成
- ②**自転車貸出事業** (実施主体：西脇市 R6予算額：3,056千円)
通学定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通の確保につなげる。



【取組状況・今後のスケジュール】

4月より実施中

6 わが町考え隊事業の推進【継】

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 heso city club代表 掘井氏を中心に、地域活性化策を展開。
SNSによる情報発信、地域住民の方とのミーティングや
マルシェの開催 など

実施主体 heso city club、北播磨県民局（R6予算：700千円）

【取組状況・今後のスケジュール】

リバーサイド楽市での出展（5/12実施済）、SNSによる情報発信（常時）、マルシェ（年1回程度） 等



【マルシェ(マルトリエ)】

7 JR加古川線(西脇市駅ー谷川駅)維持・利用促進地域協議会の発足【新】

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 住民への鉄道利用の呼びかけ、鉄道利用促進事業の実施 など

実施主体 JR加古川線(西脇市駅ー谷川駅)維持・利用促進地域協議会
構成：黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会
(R6補正予算：1,000千円〔西脇市：丹波市=1：1〕)

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・6月30日 設立総会の開催
- ・①横断幕の作成、②広報・啓発活動の推進、③協議会などでのイベント実施 ほか



【設立総会の様子】

令和6年度の主な取組

8 駅周辺の活性化に向けた地域団体等との連携 [新]

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 日本へそ公園駅周辺での「リバーサイド楽市」と谷川駅周辺での「サン・マルシェ」と連携した利用促進の取り組みの実施

特徴 広報及びJRを利用したイベント参加者へのノベルティ配布 **【リバーサイド楽市】**

- 実施主体**
- ①リバーサイド楽市（参加者 約600名、うち**鉄道利用者131名**）
（主催：tamaki niime 共催：比延自治協議会、津万自治協議会、黒田庄まちづくり協議会）
 - ②サン・マルシェ（参加者 約1,000名、うち**鉄道利用者158名**）
（主催：サン・マルシェ実行委員会）
 - ③ 両イベントの広報及びJR利用者へのノベルティ配布（西脇市、丹波市、県民局）



【取組状況・今後のスケジュール】

5月12日に実施済

【サン・マルシェ】

9 兵庫DCアフターキャンペーン [新]

観光需要の増加

【概要】

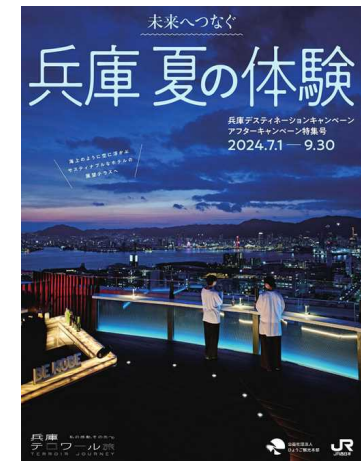
事業内容 JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン

実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体

実施期間 7月1日～9月30日

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ガイドブック、ポスターの配付、掲出
- ・ひょうご夏の体験デジタルパス(2日間用・3日間用) 発売



10 特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験 [新]

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 谷川駅で対向列車の待ち合わせのために停車している一部（下り2本、上り4本）の「特急こうのとり」に、乗り降りできるよう取り扱いを変更する実証実験を行う。

特徴 加古川線から乗り換えいただける特急列車を増やすことで、加古川線（西脇市～谷川駅）のご利用が増加するかどうか検証する。

実施主体 JR西日本

【取組状況・今後のスケジュール】

<実施期間> 7月1日～9月30日

<周知方法> チラシの配付、ポスターの掲出



<参考>

【こうのとり：下り】

	路線名	駅名	時刻
①	加古川線（下り）	谷川駅	8時50分着
	福知山線（こうのとり3号）		10時17分発
	加古川線（上り）		12時10分発
②	加古川線（下り）	谷川駅	18時08分着
	福知山線（こうのとり17号）		18時27分発
	加古川線（上り）		19時03分発

【こうのとり：上り】

	路線名	駅名	時刻
①	加古川線（下り）	谷川駅	8時50分着
	福知山線（こうのとり10号）		10時17分発
	加古川線（上り）		12時10分発
②	加古川線（下り）	谷川駅	10時40分着
	福知山線（こうのとり12号）		11時17分発
	加古川線（上り）		12時10分発
③	加古川線（下り）	谷川駅	10時40分着
	福知山線（こうのとり14号）		13時16分発
	加古川線（上り）		15時13分発
④	加古川線（下り）	谷川駅	14時10分着
	福知山線（こうのとり16号）		14時16分発
	加古川線（上り）		15時13分発

※④は金、土、休日運転

令和 5 年度の主な取組結果

姫新線WT

1 たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業

日常利用の促進

事業内容 駐車場、駐輪場の月極使用料の**全部**または**一部助成**

実施期間 令和5年度

実施主体 たつの市（R5予算：2,477千円）

申請件数 **196名**（参考 令和4年度：153名）

【反響・今後の課題】

- ①昨年度に比べ申請件数が増加した。
- ②通勤での利用者が昨年度よりも増加しており、姫新線利用者の増加を図るため、今後も継続的な事業実施が必要。

姫新線で通学される方に

駐輪料金の一部を最大3年間助成します



チャレンジ
300万人
乗車作戦

- 1 <対象者>
 - ・たつの市内に在学し、**全学年又は休学期間**で定期乗車を新たに購入のうえ、**1年以上継続して利用する方**で、駐輪場（市内外を問わない。）を月極で契約される方。
 - ・**新2年生、新3年生**で、今まで助成を受けられた方についても、助成の対象となります。（合計で3か月まで）
- 2 <助成金額（月額）>
 - ・**駐輪月極料金のうち1,000円（上限）**
 - ただし、申請月からの助成となります。
- 3 <申請手続>
 - ・助成申請書に定期乗車の写し、月極駐車（駐輪）料金徴収書の写し、1年以上継続して利用する旨の誓約書、学生証の写し等を添付のうえ、申請してください。（たつの市ホームページをご覧ください。）
- 4 <申請及びお問い合わせ先>
 - ・たつの市都市政策部まちづくり推進課 0791-64-3167
 - ・たつの市新宮総合支所地域振興課 0791-75-0251

【市内高校へのチラシ】

姫新線の維持・持続のため、積極的なご利用をお願いします！

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
乗車人員	238	237	273	280	295	287	301	310	320	322	362	360	274	294
乗車回数	-	+19	+16	+7	+15	-8	+14	+9	+10	+2	8.0	-6.2	+1.4	+2.2

通勤・通学をはじめ、便利に使える姫新線

姫新線に関するお得な情報！

【広報誌】

2 佐用町姫新線等鉄道利用促進事業

日常利用の促進

事業内容 ①佐用町大学生等通学定期券購入助成事業
佐用町内在住の大学生等の**通学定期券**
購入費用を助成

実施期間 令和5年度

実施主体 佐用町（R5予算：8,000千円）

申請件数 **71名**（参考 令和4年度：57名）

【反響・今後の課題】

- ①年齢制限の引上げにより新たに2名、対象学校の拡大により新たに5名の申請があった。
- ②卒業後も継続的な姫新線利用に繋げるため、卒業生の追跡調査や効果的なPR方法の検討が必要。

事業内容 ②鉄道利用促進のための乗車券支給事業
佐用町内の駅から鉄道を利用する者に、**片道分※の乗車券を支給** ※津山〜姫智間

実施時期 令和5年度

実施主体 佐用町（R5予算：600千円）

申請件数等 **169件、利用人数631人**

（参考 令和4年度：件数18件、利用人数227人）

【反響・今後の課題】

- ①2名以上から申請可能としたことで、申請件数が大幅に増加。（令和4年度までは5名以上から）
- ②他の利用促進策と連携し、制度のさらなる周知、利用を図る。

3 兵庫デスティネーションキャンペーン

観光需要の増加

事業内容 兵庫デスティネーションキャンペーン

兵庫DC期間は、播磨地域の見どころを様々な媒体を活用してPR、**ひょうご☆乗り放題パス**発売、**姫新線兵庫DC特別ヘッドマーク**掲出、**龍野北高校による兵庫DC車内中吊り広告**の制作・掲出、**駅頭の兵庫DC装飾**

実施時期 7月1日～9月30日
実施主体 JR西日本、兵庫県、各沿線自治体
実施結果 12月21日プレスリリースの通り

【反響・今後の課題】

- ・「食」「体験」をテーマに実施した兵庫DCならではの多彩な取組を多くのメディアに取り上げられると共に、様々な主体の連携が進み、今後の展開が期待できる。



4 WESTER おでかけスポット・イベント登録

観光需要の増加

事業内容 WESTER おでかけスポット・イベント情報の登録

実施時期 令和5年度
実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施結果 たつの市：**スポット4件**、**イベント6件**新規登録完了

【反響・今後の課題】

- ・移動生活ナビアプリのWESTERを活用して、たつの市のスポット4件、イベント6件について情報発信をすることができた。JRとしては、引き続きWESTERのサービス拡充とご利用者の増加を目指す。



5 西播磨ドローンレース大会

観光需要の増加

事業内容 姫新線沿線の活性化を図るため、姫新線沿線で**ドローンレース大会**を実施

実施時期等 10月28日 佐用町上月体育館

実施主体 西播磨県民局（R5予算：400千円）

参加人数 トドローンレース23名、FPVレース6名、見学者41名
計70名（うち姫新線利用者：**12名**）



【トドローンレース】



【FPVレース】

【反響・今後の課題】

- ①佐用町内での全児童へのチラシ配布、防災無線での告知等により姫新線イベントを幅広く周知出来た。
- ②県外からも一定の集客があったことから、さらなる交流人口の拡大を図っていく。

6 駅カードの作成

観光需要の増加

事業内容 広域デジタルスタンプラリーの開催にあわせて、沿線の魅力を伝える**播磨新宮から上月駅間の駅カード**作成し、配布

実施主体 姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）

実施期間 8月1日～9月11日

配布枚数 播磨新宮駅**194枚**※1、佐用駅**216枚**※2、上月駅**74枚**
※1播磨新宮 千本 西栗栖の3駅分 ※2三日月 播磨徳久 佐用の3駅分



【カード表面】



【カード裏面】

【反響・今後の課題】

- ①神戸新聞、読売新聞などのメディアに掲載された。
- ②姫新線のファン、リピーター獲得に向け、引き続き姫新線の魅力発信に努めていく。

7 沿線施設等への県産木材製サイクルスタンドの導入

まちづくりと
一体となった魅力創出

事業内容 鉄道と自転車の一体的な利用や脱炭素社会に向けた県産木材利用の促進を図るため、**沿線施設等に県産木材製サイクルスタンド**を導入

実施主体 西播磨県民局（R5予算：約1,000千円）

設置場所 姫新線の駅周辺及び観光施設**7カ所**に
22基設置（9月25日）

【反響・今後の課題】

- ①市町と連携した結果、沿線の様々な施設に設置でき、鉄道と自転車の一体的な利用促進に寄与した。
- ②利活用促進に向け、今後とも市町観光部局等とも連携した取組を続けていくことが肝要。



【ふれあいの里上月】



【たつの市営駐車場(下川原)】

令和6年度の主な取組

姫新線WT

1 たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業 [継]

日常利用の促進

事業内容 駐車場、駐輪場の月極使用料の**全部**または**一部助成**

実施時期 令和6年度

実施主体 たつの市 (R6予算: 3,488千円)

【取組状況・今後のスケジュール】

- ①市内の高校にチラシを配付し、積極的な申請を呼び掛けている。
- ②市広報誌にて制度周知及び姫新線利用を呼び掛ける。
- ③令和7年3月まで随時申請を受付

姫新線で通学される方に
駐輪料金の一部を最大3年間助成します



チャレンジ
300万人
乗車作戦

- 1 <対象者>
 - ・たつの市内に在学し、定期乗車券を新たに購入のうえ、**1年以上継続して利用する方**で、駐輪場（市内外を問わない）を月極で契約される方。
 - ※**定住世帯、都心世帯**で、今年まで助成を受けた方については、助成の対象となります。（合計で3か月まで）※**年度毎に申請が必要**
- 2 <助成金額（月額）>
 - ・**助成毎月額料金のうち1,000円（上限）**
 - ただし、**申請月からの助成**となります。
- 3 <申請手続>
 - ・助成申請書に定期乗車券の写し、月極駐輪料金領収書の写し、1年以上継続して利用する旨の誓約書、学生証の写し等を添付のうえ、申請してください。（詳しくはたつの市ホームページをご覧ください。）
 - ※領収書・学生証は請求時まで提出
- 4 <申請及びお問い合わせ先>
 - ・たつの市企画財政部ふるさと創造課 0791-64-3121
 - ・たつの市新宮町会支所地域振興課 0791-76-0251

【市内高校へのチラシ】



【R5広報誌】

2 佐用町姫新線等鉄道利用促進事業 [継]

日常利用の促進

事業内容 ①佐用町大学生等通学定期券購入助成事業
佐用町内在住の大学生等の**通学定期券購入費用を助成**

実施時期 令和6年度

実施主体 佐用町 (R6予算: 8,000千円)

【取組状況・今後のスケジュール】

本制度の対象者については漏れがないよう周知しつつ、来年度以降に高校を卒業し進学を予定する生徒に対し本制度を周知・案内し、姫新線通学者数の増加を図る

事業内容 ②鉄道利用促進のための乗車券支給事業
佐用町内の駅から鉄道を利用する者に、**片道分※の乗車券を支給** ※津山〜姫智間

実施時期 令和6年度

実施主体 佐用町 (R6予算: 800千円)

【取組状況・今後のスケジュール】

住民や各種団体に本制度を利用した鉄道利用を呼びかけながら、姫新線利用人数の増加を図る

3 WESTERへの情報集約【継】

観光需要の増加

【概要】

- 事業内容** WESTER おでかけスポット・イベント情報の登録
- 実施主体** JR西日本、沿線自治体
- 実施期間** 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ 移動生活ナビアプリWESTERを活用した情報発信
 - ・ 継続的なWESTERのサービス拡充とご利用者の増加キャンペーン
- ※登録スポット数：姫新線沿線 11件



4 姫新線車内路線図【継】

観光需要の増加

【概要】

- 事業内容** 龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の作成（令和6年度：16回目）
- 実施主体** JR西日本、兵庫県立龍野北高校
- 実施期間** 通年

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ 路線図受領式・感謝状贈呈式を3月実施予定



5 兵庫DCアフターキャンペーン [新]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン
実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体
実施期間 7月1日～9月30日

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ひょうご夏の体験デジタルパス(2日間用・3日間用) 発売
- ・ガイドブック、ポスターの配付、掲出



6 南光ひまわり祭りでのおもてなし (播磨徳久駅・姫路駅) [新]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 姫路駅から姫新線ご利用のお客様への一日駅長 (姫路駅) によるお見送り
 名誉駅長 (播磨徳久駅) と佐用町商工会合同のお迎え、ご案内のおもてなし
実施主体 JR西日本、佐用町等
実施期間 7月13日～28日の土日祝 (一日駅長は7月21日)

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・佐用町立南光小学校から一日駅長の募集
- ・掲示物によるおもてなし
- ・車両増結による輸送力強化



7 姫新線ランタン祭り [新]

観光需要の増加

事業内容 姫新線沿線にて夜空にLEDライトで光るランタンを浮かべて幻想的な雰囲気を楽しむ「ランタン祭り」を実施

実施主体 西播磨県民局（R6予算：545千円）

募集人数 100名程度（ランタン数 100基を予定）

【取組状況・今後のスケジュール】

秋以降の実施に向けて調整中



※イメージ写真【タイのコムローイ祭り】

8 姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー [新]

観光需要の増加

事業内容 姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施し、姫新線のPR及び利用促進をするとともに、万博開催に向けた機運醸成を図る。

実施主体 西播磨県民局（R6予算：212千円）

募集人数 40名程度（予定）

【取組状況・今後のスケジュール】

秋以降の実施に向けて調整中



【皆田和紙紙すき体験】
※イメージ



【西はりま天文台】
※イメージ

令和 5 年度の主な取組結果等

播但線WT

1 JR利用促進補助金（3制度）

日常利用の促進

事業内容 JR播但線利用に係る3つの補助制度
実施時期 令和5年度（10月制度拡充）
実施主体 神河町（R5予算：10,800千円）
申請状況 ・はまかぜ **226件 667,280円**
(3月末時点) ・JR播但線 **773件 1,588,500円**
 ・遠距離 **235件 3,247,740円**

【反響・今後の課題】

- ①住民意見を反映し、**10月に制度の内容拡充**を行った。
- ②補助制度ができたので、JR利用したという意見もある。

制度	対象者	補助割合等
特急はまかぜ利用促進補助金 (個人補助割合・限度額拡充)	特急はまかぜを寺前駅で乗降利用する個人、又は団体	個人 1/2:年12,000円限度 (拡充前:3/10:年6,000円) 団体 1/2:年48,000円限度
JR播但線利用促進補助金 (年齢要件撤廃)	新野駅・寺前駅・長谷駅からJR播但線を往復利用する者 (拡充前:65歳以上は1人以上、65歳未満は2人以上の者)	普通乗車券購入費用の1/2 (月3,000円限度)
遠距離通勤・通学等補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅を基点としてJR播但線を含む鉄道路線で50km以上通勤・通学する定期購入者 寺前駅から和田山駅間を利用して通勤・通学する定期購入者	月5,000円 (月額費用が5,000円未満の場合はその額)

2 駅前カーシェア事業

観光需要の増加

事業内容 二次交通カーシェア車両として電気自動車2台を配備
 ・寺前駅 日産リーフ：観光協会 ・長谷駅 日産サクラ：村営ふれあいマーケット長谷店

実施時期 7月3日～3月31日
実施主体 神河町（R5予算：約3,400千円）
利用状況 寺前駅：**14回** 長谷駅：**7回**
(3月末時点)

【反響・今後の課題】

- ①駅からのバス以外の二次交通手段を確保することにより、JRの利用に繋げる。
- ②利用増を図るため、観光客等に対するPR方法を検討する必要がある。



3 特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド駐車場

日常利用の促進

事業内容 特急はまかぜを利用する市民の自家用車等の駐車場を事前予約により**無料**で利用できるサービス

和田山駅：3台分、生野駅：3台分

実施時期 令和5年度

実施主体 朝来市（R5予算：416千円）

実施結果 右表のとおり

利用実績	5月31日時点	3月31日時点	増減数
生野駅	22件	93件	71件
和田山駅	28件	186件	158件

【反響・今後の課題】

市による情報発信や利用者による口コミ効果により多くの市民が利用。市民に好評を得ている政策であるため今後も継続。

4 市民意識の醸成と地域が主体となった利用促進

日常利用の促進

まちづくりと 一体となった魅力創出

事業内容 ○地域自治協議会等によるイベント（ウォーキングイベント等）

○まちづくりフォーラム（市内11会場：**708名参加**）

○公共交通ワークショップ（市内2会場：**46名参加**）

○生野高校生による駅周辺活性化事業（生野駅西口）

実施時期 令和5年度

実施主体 朝来市など

実施結果 多くの市民の参画を得て、市民意識の醸成に繋がった。



【公共交通ワークショップ 7/9】



【生野高校生による
駅周辺活性化事業 12/16】

【反響・今後の課題】

市民・行政・交通事業者が役割分担を行いながら、引き続き市民意識の醸成を図る。

5 播但線鉄道整備・利用促進協議会の取組強化

観光需要の増加

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

- 事業内容** 協議会の機能強化を図りながら、利用促進部会を中心に利用促進策を講じる。
- 実施時期** 7月3日～
- 実施主体** 播但線鉄道整備・利用促進協議会
- 実施結果** 利用促進部会を2回開催し、来年度に向けた利用促進策を取りまとめ、協議会に提案



【ガジロウを使った広報】

【反響・今後の課題】

福崎町キャラクター「ガジロウ」を使った広報戦力を検証済で、来年度の事業計画に計上すべく、利用促進部会を中心に準備。

利用促進の企画と合わせ、播但線沿線の各駅前の環境整備（パーク&ライドや駐車場・駐輪場）が行いやすいような取組も実施。



【利用啓発グッズ作成】

6 夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行

観光需要の増加

- 事業内容** JR各駅等と観光地を結ぶ夢但馬周遊バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保
- 実施時期** 令和5年度の土・日・祝
- 実施主体** 但馬観光協議会（R5予算：約15,278千円）
- 実施結果** **2,412名**（前年度比 **323名増加**）

【反響・今後の課題】

JR広報の影響が大きく、DCによるPR効果が乗車人数の増加に繋がったことから、今後もJRと継続的に連携しながら広報に取組み、但馬観光協議会でも引き続き多方面での広報や利用者満足度向上に努め、更なる乗車人数増加を図る。

アンケートでは、運行継続を要望する声が多かった。

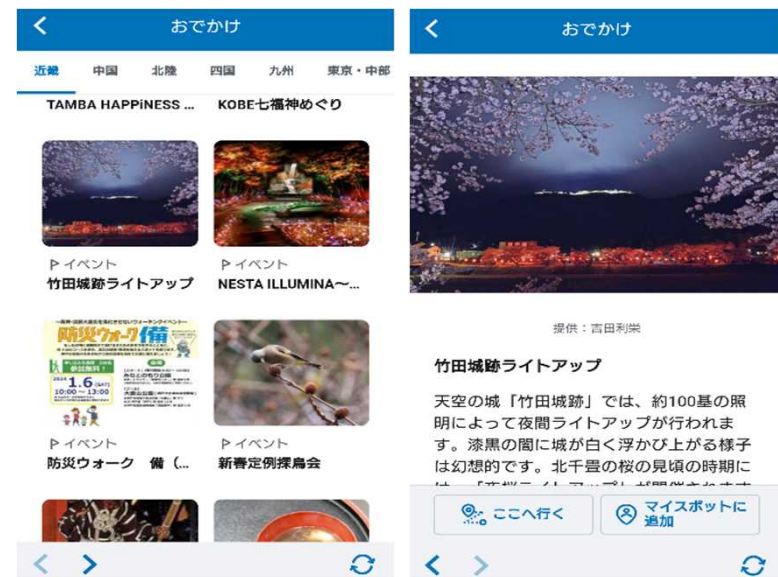
7 WESTERへの情報集約

観光需要の増加

事業内容 WESTER おでかけスポット・イベント情報の登録
実施時期 令和5年度
実施主体 JR西日本、沿線自治体
実施結果 寺前～和田山間、**現在14スポット**、2イベント掲載
 (内3件、JR関連会社の掲載登録を含む。)

【反響・今後の課題】

移動生活ナビアプリのWESTERを活用して、情報発信した。
 引き続き、WESTERのサービス拡充と利用者の増加を目指す。



8 兵庫DCを契機としたイベント列車

観光需要の増加

事業内容 イベント列車運行
実施時期 7月1日～9月30日
実施主体 JR西日本、兵庫県、各沿線自治体
実施結果 **サロンカーなにわ：9月28日、29日**
「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン：9月10日

【反響・今後の課題】

兵庫DC期間、多彩な観光列車を運行し、沿線地域住民らによる心温まるおもてなしにより、多くの観光客が楽しんだ。



令和6年度の主な取組

播但線WT

1 JR利用促進補助金（3制度） [継]

日常利用の促進

- 事業内容**
- ・ **特急はまかぜ利用促進補助金**
 - ・ **JR播但線利用促進補助金**
 - ・ **遠距離通勤・通学等補助金**

実施主体 神河町（R6予算：6,400千円）

実施期間 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

令和5年度実績 1,234件申請
5,503千円

制度	対象者	補助割合等
特急はまかぜ利用促進補助金	特急はまかぜを寺前駅で乗降利用する個人、又は団体	個人 1/2:年12,000円限度 団体 1/2:年48,000円限度
JR播但線利用促進補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅からJR播但線を往復利用する者	普通乗車券購入費用の1/2 (月3,000円限度)
遠距離通勤・通学等補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅を基点としてJR播但線を含む鉄道路線で50km以上通勤・通学する定期購入者 寺前駅から和田山駅間を利用して通勤・通学する定期購入者	月5,000円 (月額費用が5,000円未満の場合はその額)

2 長谷駅利用促進事業 [継]

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

事業内容 JR播但線長谷駅利用人数を増加させるため、長谷駅周辺でのイベント開催や、利用促進に繋がる取り組みを委託する

実施主体 **長谷地区の振興を考える会**（R6予算：1,200千円）

実施期間 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

6月15日 ホタル祭り 毎月13日 長谷駅快速列車全停記念日乗車
7月14日 長谷駅前納涼祭り
11月23日 長谷駅紅葉ウォーキング



3 公共交通に対する意識醸成 [継]

日常利用の促進

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

公共交通を維持・確保するためには、市民とともに公共交通対策に取り組むことが重要である。令和6年度も継続して「**公共交通はみんなで守っていくもの**」であるということを確認いただく必要があり、**マイレール意識の醸成に向けた意識啓発**に取り組む。

【取組状況・今後のスケジュール】

公共交通ワークショップ（年2回）の実施、職員の通勤における公共交通機関の利用推奨、CATV等による公共交通に関する情報発信の実施。



【公共交通ワークショップ】



【生野高校生による駅周辺活性化事業】

4 公共交通の利用促進 [継]

日常利用の促進

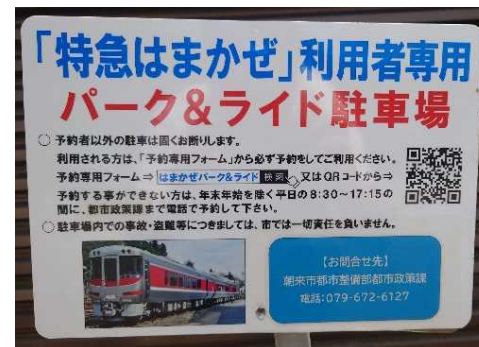
まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

各種助成制度の創設、駅の待合環境整備などを通じて、公共交通の利用促進に努める。

【取組状況・今後のスケジュール】

はまかぜ利用促進補助金、播但線団体利用補助金、公共交通通勤利用補助金、駐車場利用補助金等各種補助金の実施、はまかぜパーク＆ライドの実施、**交通系ICカードの導入に向けた検討**の実施



【はまかぜパーク＆ライド】



【公共交通情報誌 あさごナビ】

5 播但線鉄道整備・利用促進協議会の取組み [継]

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

昨年度に引き続き、**福崎町の「ガジロウ」を活用して広報活動を実施**する。本年度はJRに協力いただき、車内や駅構内での撮影を実施し、報道各社とも連携し公開する。併せて「ガジロウ」と播但線を組み合わせたノベルティを作成し配布するとともに、特定の期間を「**播但線利活用月間**」とし集中的な利用促進を図る予定。



【取組状況・今後のスケジュール】

「ガジロウ」を活用した広報活動の実施、ノベルティの作成

【令和5年度の様子】

6 WESTERへの情報集約 [継]

観光需要の増加

【概要】

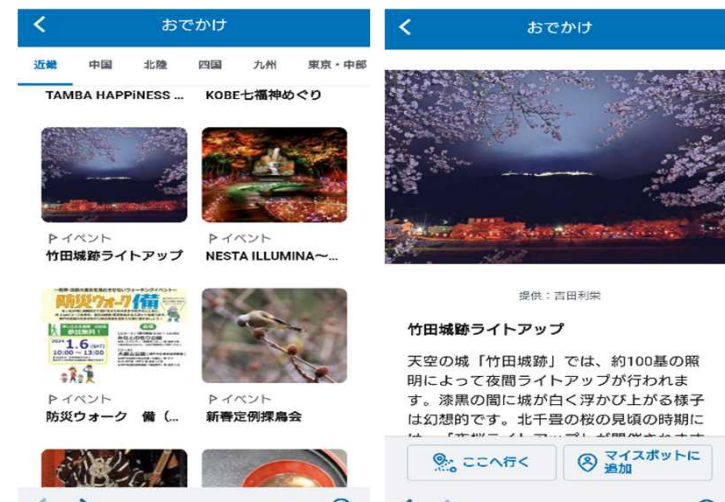
事業内容 WESTER おでかけスポット・イベント情報の登録

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 令和6年度

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ 移動生活ナビアプリWESTERを活用した情報発信
- ・ **継続的なWESTERのサービス拡充とご利用者の増加キャンペーン**



7 兵庫県但馬キャンペーン ひょうこと巡る 山陰線・播但線の旅 [継]

観光需要の増加

【概要】

- 事業内容** 「駅メモ！」シリーズとコラボしたデジタルスタンプラリー
特徴 対象駅（12駅）や観光施設（15箇所）にチェックインポイントを設定
実施主体 JR西日本、沿線自治体
実施期間 令和6年2月23日～9月23日



【大阪駅デジタルサイネージ】

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・オリジナルキャラクター「但馬ひょうこ」の登場（令和6年2月～）
- ・ラッピング列車の運行（令和6年2月下旬～9月下旬頃）
- ・普通列車内でのポスター、城崎温泉駅でのオリジナル駅名標の設置（令和6年2月～）
- ・車内の中吊りや主な駅のデジタルサイネージを用いた広告（令和6年2月～）

※月間チェックインユーザー数（令和6年4月）：**寺前駅651名、生野駅676名、竹田駅744名**

8 兵庫DC アフターキャンペーン [新]

観光需要の増加

【概要】

- 事業内容** JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン
実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体
実施期間 7月1日～9月30日

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・(ICOCAでGO)ひょうご夏の体験デジタルパス(3日間用)の発売
- ・ガイドブック、ポスターの配付・掲出による宣伝
- ・**夢但馬周遊バス「たじまわる」、夢たじま観光タクシーの運行** など



9 銀の馬車道・サイクルトレイン [継]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力発信を目的としたサイクルトレイン運行

特徴 JR播但線「香呂駅～生野駅」区間を自転車を折りたたまず、そのまま列車に乗せて移動

※令和5年度実績：サイクルトレインコース55名／定員60名

実施主体 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会、特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート、JR西日本

実施期間 計画中

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・団体臨時列車の運行を計画

